

平成 2 5 年度

事 業 報 告

(であい・ふれあい・支え合い)

自 平成 2 5 年 4 月 1 日

至 平成 2 6 年 3 月 3 1 日

社会福祉法人 丸森町社会福祉協議会

平成25年度社会福祉法人丸森町社会福祉協議会総括事業概要報告書

長期にわたる景気の低迷など内なる構造的課題に加え、空前の大震災、原発事故などが追い打ちを掛け、経済・雇用に影響を及ぼしていましたが、最近ではそれも回復傾向に転じたと言われております。

一方、地域社会では、過疎化と少子高齢化が急激に進行し、中高年の一人暮らし世帯が徐々に増えつつあるなど時代の波に翻弄されるように家族形態と家族機能へも大きな変化をもたらし、それは今日まで地域住民同士が営々と築き上げてきた地域コミュニティにも大きな影を落とし始めています。

本協議会は、本町地域福祉計画に則し、本町の目指すあるべき姿を目標にして、地域福祉向上と、地域住民同士が共に支え合い、住み慣れた地域で元気に過ごすことが出来る仕組みづくりを進めるため、各種団体と連携しながら「ふれあいサロン」の活動など福祉活動の拠点づくりに努めてまいりました。

また、平成24年10月に認可保育所として開設した「丸森たんぼぼこども園」は、平成25年4月に幼稚園機能を備えた保育所型認定こども園としてスタートいたしました。当初の入園児童数は148名、短時間保育17名で140名の定員を遥かに超える状況でありました。11月から12月にかけて「こども園」を利用する保護者を対象に保育サービス満足度把握と意見要望を調査するアンケートを実施しました。集計結果は保護者や町議会議員等に公表し、透明性を図りました。利用者視点による客観的な評価を参考に、今後のより良い保育教育環境の充実向上に反映させてまいります。

なお、大張児童館及び耕野児童館は地方自治法に基づく、指定管理者として運営を地域の方々の協力を得ながら保育目標達成に努めてまいりました。

結びに、本協議会のスローガンである「であい・ふれあい・支え合い」をキーワードに、地域福祉課題や生活課題などの問題解決を図りつつ、「誰もが、その地域で安心して暮らすことのできる、福祉の町づくり」を、行政を始め住民自治組織など各種団体と連携し、継続的に事業を展開してきたことを報告いたします。

◎重点事業

1. 地域福祉の推進

以前より町と連携して「災害時要援護者台帳」新規登録者の追加等を民生委員児童委員の協力を得ながら実施してきましたが、平成25年度は町の緊急雇用創出事業業務委託制度を利活用し、全面的な見直し調査を実施しました。これにより新たに200人を加えることとなり、その数1,400人、深刻な状況が浮き彫りになりました。

このように見守り支援が必要とされる高齢者が急激に増えつつあることに着目し、これまで以上に見守りの「目」を増やそうと町、社会福祉協議会、民生委

員児童委員協議会、住民自治組織などで組織する「丸森町見守りネットワーク」の体制づくりに参画するとともに、もっと小さな地域における高齢者見守りのシステムづくりを模索検討しました。

2. 児童福祉と福祉教育の推進

4月に幼稚園機能を備えた保育所型認定こども園スタートさせましたが、こども園創生期にあることを十分自覚し、町や仙台大学はじめ県内の保育教育関係法人などの協力を頂きながら、より質の高い保育教育の確立と充実に努めました。

また、大張児童館と耕野児童館を指定管理事業受託し、休館して施設管理のみとなった耕野児童館を除く大張児童館の管理運営は、地域から大きな協力を頂きながら地域とともに地域に根差した保育教育に取り組みました。児童数の減少による少人数保育教育のデメリットを補完すべく、こども園と相互連携して交流保育、合同保育と集団で過ごす取り組みに努めました。

福祉教育については、学校側の深い理解の元、キャップハンディ体験や高齢者との交流事業などに取り組みました。

3. 介護を予防するための事業の充実強化

町の介護予防事業と連携し、小学校の協力を得ながら実施した「もりもりクラブ」など高齢者対象事業は継続的に取り組みました。

また、ふれあいサロン事業も地域で少しずつ広がりを見せており、サロンの代表者を対象とした研修会を開催し介護予防への理解と普及に努めました。

4. ボランティアセンター運営事業の推進

ボランティア情報の収集と発信、コーディネート業務、ボランティアへの教育研修と情報交流の機会を設けながら本会事業への積極的な参画を促し、一定の成果を見たところです。

また、ここ数年子育てボランティア団体の育成に努めて参りましたが、平成25年度にはこの育成団体に対して、こども園事業の一端を委ねることができるまでに成長しました。

地域においては、震災前より取り組んでいた自主防災組織がこの震災を機会に行政区長を中心に取り組む行政区が増えてきました。小地域の防災訓練へ積極的に協力参画し、災害時の持出し品の見本展示や説明、災害時保存食品の展示試食などの支援を行いました。

5. 総合的な相談支援事業の推進（町包括支援センターと連携）

困りごと、心配ごとを抱える人の相談に応じることを基本に月二回の割で開設

- ・ 労務管理相談会
6月20日 柴田町地域福祉センター
- ・ 福祉サービスの苦情解決に関する研修会
9月19日 アエル多目的ホール
- ・ 本会理事研修会
9月27日 名取市閑上地区・名取市文化会館他
- ・ 管理職員研修Ⅰ
10月23日 県建設産業会館
- ・ 市町村社会福祉協議会 事務局長会議
1月9日 東京エレクトロンホール宮城
3月6日 JAビル宮城
- ・ 第9回社協フォーラム
2月14日 東京エレクトロンホール宮城

(3) 企画広報事業

①健康と福祉のつどい

健康と福祉のつどい運営委員会を実行委員会とし、各種団体との連携により「健康で互いに支え合うまちづくり」を推進することを目的に住民だれもが参加できるつどいを実施した。

11月24日 670名参加（一般参加者500名・関係スタッフ170名）

②社会福祉事業功労者表彰式

永年にわたり地域福祉の向上に貢献した方々やボランティア活動実践の団体・個人に対して、記念の『表彰楯』を贈呈した。

2月26日 200名参加 被表彰者・・・個人56名 団体 6団体・1企業

(4) 助成事業

誰でも安心して暮らせる地域福祉づくりのため地域福祉を担うニーズ調査の実施や福祉団体等と協働での事業実施をすることによる町民福祉の向上を目指した。

・・・12団体に合計851,674円を助成

(5) 地域福祉活動の推進・共同募金配分金事業

①住民自治組織活動との連携強化

地区自治組織福祉関係部会(地区社協)との協働事業に取り組むため、地域の福祉課題を共有し地区組織や関係機関と協力しながら、介護予防事業と地域防災の啓発活動を行った。

②老人福祉事業推進

ア) ふれあいサロン

地域を拠点として、レクリエーションや頭の体操をすることにより、介護予防へのつながり、いつまでも住み慣れた地域で元気よく暮らせるよう支援することを目的として実施した。

・・・59 団体、回数延べ 622 回活動

・「ふれあいサロンお茶のみ会」リーダー研修会開催

ふれあいサロンが中心となり、活動を推進していくリーダーためのスキルアップを図るためリーダー研修会を町保健福祉課地域包括班と連携し、2 回開催した。

イ) 生活あんしん事業

地域住民の安心安全を目的に、自主防災組織とも連携していくように働きかけていくとともに、非常食と救急箱を、新規結成の自主防災組織へ支援した。

5 地区で非常用食品の展示・説明と試食品の提供を行った。

ウ) 愛の手紙（誕生カード）事業

65 歳以上ひとり暮らし高齢者の方々へ、かっこボランティア（中学生・高校生）手づくりの『誕生カード』と絵手紙教室ボランティアの絵手紙添え、毎月誕生月に作成して、合計 4 3 3 枚送った。

エ) あんしんカード【災害時要援護者カード】作成 配布

ひとり暮らし高齢者や高齢者世帯等を対象に、民生委員の協力を得て、災害時要援護者カード（通称：あんしんカード）を作成した。

平成 23 年 10 月から災害時要援護者カードへ移行

・・・合計 1, 3 9 5 名に配布

オ) ひとり暮らし高齢者防火診断協力【主催 角田消防署】

秋季・春季火災予防運動の一環で、丸森町民生委員児童委員協議会の協力を得て、防火診断を行った。

・・・2 地区 1 9 世帯

カ) ひとり暮らし高齢者宅電気配線点検

ボランティア団体「丸森清瀧電友会」の協力を得て、80 歳以上のひとり暮らし高齢者宅を訪問し、電気配線の点検を実施した。

・・・1 地区 1 6 世帯

③障害福祉事業推進

ア) 丸森町障害福祉団体連絡協議会

障害種別の違いを超え、障害がある方々とボランティアとの交流や支援を通じて相互理解を深め、住みよい地域づくりを推進した。

・・・9 団体

イ) 障害者支援事業

心身障害関係の方に『クリスマスプレゼント』を贈った。

・・・7団体106名に贈呈

ウ) 視覚障害者支援事業

ボランティア 声のプロムナードの協力を得て、視覚に障害のある方に、毎月
広報紙をカセットテープに吹き込んで、「声のテープ」を自宅へ郵送した。

・・・視覚障害者1名 延べ12回支援

④児童福祉推進事業

ア) 遺児支援事業

宮城県社会福祉協議会の助成事業の一環として、遺児を対象に文具券とメッセージカードをプレゼントしました。

・・・27名に贈呈

イ) 子育て支援事業協力と子育てグループの活動支援

丸森町の子育て支援センター「こりす園」・「ブックスタート」でのボランティア活動を支援した。

・こりす園活動支援 ・・・年間延べ24名派遣

・ブックスタート事業 ・・・8日間延べ24名派遣

ウ) 子育てボランティアの育成

・子育てサポーターリーダー養成講座 ・・・2日間延べ4名派遣

・子育てサポーター養成講座 ・・・3日間延べ1名派遣

・学ぶ土台圏域ワークショップ ・・・1日間延べ1名派遣

・子育てサポーターフォローアップ研修会 ・・・3日間延べ4名派遣

⑤その他の福祉事業

ア) 避難者家族のつどい

東日本大震災の影響で本町へ転入されている世帯を対象に、情報交換や交流を
目的として実施した。

・・・1回実施5世帯11名参加

⑥災害援護事業

町民の方で、災害罹災世帯へ見舞金を贈呈した。

・・・2件40,000円

※同時に宮城県共同募金委員会へ申請

⑦住民への地域福祉の啓発

ア) 広報紙『社協まるもり』の発行

社協だより「社協まるもり」を発行。町内会の協力を得ながら、全戸配布に努
めるとともに関係機関等へ配布した。

・・・年間4回22,000部発行

◎ホームページ作成準備作業（平成26年度から運用開始）

イ) 福祉教育の推進

町内の児童を対象として、福祉体験学習を行った。

- ・丸森小学校3回
- ・館矢間小学校1回
- ・金山小学校1回
- ・夏休みチャレンジスクール（町教育委員会主催）1回

・・・6回実施延べ206名参加

(6) 在宅福祉サービスの推進

①福祉機器貸与事業

要介護認定者を除く介護が必要な方々に対し、車椅子と介護用ベッドの貸し出しを行った。

・・・車椅子15件貸出 介護用ベッド5件貸出

②介護予防事業

ア) もりもりクラブ

元気老人対策事業の一環として、小学校の協力のもとで、高齢者と児童が交流を図った。

・・・5校延べ14回開催 児童延べ183名 高齢者延べ111名参加

(7) 丸森町ボランティアセンター運営事業

①ボランティア活動の相談・斡旋

住民の自主的活動であるボランティア活動が円滑に実践されるよう支援した。

丸森町ボランティア連絡会・・・24団体545名

②ボランティア活動のための支援援助

ボランティア活動が円滑に進められるよう、ボランティア活動調整・情報提供・研修会の開催・講師の派遣等を行いました。

- ・配食サービス調整 ・・・年間51日派遣
- ・子育て支援センター「こりす園」支援ボランティア調整 ・・・年間18回延べ59名派遣
- ・ブックスタート事業(7か月乳児健診) ・・・年間8回延べ24名派遣
- ・あかちゃん相談時見守りボランティア ・・・年間12回延べ24名派遣
- ・館矢間子育てサロン「育てやまカフェ」 ・・・年間延べ10名派遣
- ・託児・小学校支援ボランティア ・・・年間5回延べ18名派遣
- ・一人暮らし高齢者入院時洗濯ボランティア調整 ・・・5件・60日活動延べ60名派遣

- ・施設活動ボランティア調整 ・・・年間 22 件
(仙南ジェロントピア・丸森ロイヤルケアセンター・ツクイ丸森)
- ・ふれあいサロンボランティア派遣 ・・・年間 3 件
- ・丸森ウォークラリー大会 ・・・3 名派遣
- ・視覚障害者広報紙「まるもり」テープ作成 ・・・年間 12 回実施
- ・JR 障害者専用列車「ひまわり号」を走らせる宮城実行委員会へ協力 ・・・8 名派遣

③丸森町ボランティア連絡会の活動支援

本町のボランティアグループ 24 団体 545 名が登録している「丸森町ボランティア連絡会」の研修会の支援を行った。

・・・年間 2 回開催

④ボランティア保険加入促進

個人・団体のボランティア活動保険の加入手続きの窓口として、受付と加入促進を行った。

・・・年間 6 1 件受付

(8) 災害ボランティアセンター体制整備

①災害ボランティア研修会

関係機関との情報交換会及び研修会へ参加した。 ・・・年間 6 回参加

②町民を対象とした災害時を想定した訓練や啓発活動

大規模災害の備え、地域住民と関係機関との連携を図りながら、非常時の持ち出し品・非常食等の展示と説明を行った。

・・・年間 5 回開催

(9) 総合的な相談支援と福祉サービス利用促進

①生活相談所の運営

町民の方々が安心して暮らせるように生活上の様々な悩み事、心配事の相談等を関係機関と連携を図りながら相談援助を行った。

・・・年間延べ 3 5 件

②日常生活自立支援事業（通称：まもり一ぶ事業）

〔宮城県社会福祉協議会受託事業〕

生活支援員による認知症の高齢者、知的・精神障害者の福祉サービス利用の援助、日常生活費等の金銭管理、書類保管等のサービスを行った。

・・・利用者契約数 6 名 延べ 1 4 2 回支援

③成年後見制度《法人成年後見人》

平成 1 9 年度から 1 名の方の成年後見人を受任。入院費の支払い等の支援を行った。

・・・年間延べ 2 0 回支援

(10-1) 受託事業

①地域福祉等推進施策受託事業

ア) 丸森町高齢者スポーツ大会の開催

スポーツ推進委員の協力を得て、誰にでも気軽に行えるニュースポーツを行った。

・・・年間1回開催 17団体 100名参加

イ) ボランティア育成事業

ボランティアグループの支援と育成を目的にボランティア及び関連団体の調整や交流を図り、活動費の助成を行った。

・・・24グループ合計120,000円助成

②家族介護者交流事業

寝たきり高齢者や認知症高齢者を介護する家族を支援するため、介護者同士の情報交換の場として交流事業を開催した。

ア) 認知症家族介護者の相談・交流会

・・・年間3回実施 延べ14名参加

イ) 家族介護者交流サロン

・・・年間6回実施 延べ29名参加

ウ) 男の料理教室&介護教室

・・・年間6回実施 延べ35名参加

③緊急雇用創出事業業務委託事業

(丸森町災害時要援護者台帳整備事業受託)

災害時に家族等の援助が困難で何らかの助けを必要とする要支援者の「災害時要援護者台帳」を作成・整備した。

・・・台帳件数1,395件

(10-2) 指定管理事業

①丸森町大張児童館の管理運営

②丸森町耕野児童館の管理運営

(施設管理のみ)

(11) 低所得者世帯資金貸付事業

①所得世帯への資金貸付事業と償還指導(民児協協力)

本町に居住する低所得者、障害者又は高齢者に対し、資金の貸付と必要な援助指導を行うことにより、生活の安定や生活意欲の助長を図った。

ア) 生活福祉資金貸付事業

・・・0件

イ) 生活福祉資金貸付事業(災害復興支援資金)

・・・1件

ウ) 生活福祉資金貸付事業(緊急小口資金 10万円~20万円)

・・・35件

エ) 生活安定資金貸付事業

・・・8件

(12)丸森たんぽぽこども園運営等に関する事業

①丸森たんぽぽこども園利用状況(長時間保育・短時間保育)

	保育 日数	在 籍 児童数	出席延べ児童数						合計
			0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	
4月	(長) 25日	142人	79人	379人	304人	544人	545人	591人	2,442人
	(短) 17日	18人				124人	94人	45人	263人
5月	(長) 24日	145人	113人	467人	328人	542人	573人	658人	2,681人
	(短) 21日	17人				146人	78人	45人	269人
6月	(長) 25日	146人	117人	465人	297人	544人	644人	627人	2,694人
	(短) 20日	17人				148人	99人	53人	300人
7月	(長) 26日	149人	149人	553人	400人	651人	738人	734人	3,225人
	(短) 16日	16人				112人	60人	34人	206人
8月	(長) 27日	150人	125人	391人	327人	519人	535人	559人	2,456人
	(短) 6日	16人				31人	20人	7人	58人
9月	(長) 23日	150人	140人	464人	335人	510人	623人	618人	2,690人
	(短) 19日	17人				129人	73人	63人	265人
10月	(長) 26日	150人	167人	540人	397人	628人	716人	710人	3,158人
	(短) 22日	17人				155人	82人	80人	317人
11月	(長) 24日	148人	137人	478人	332人	567人	643人	657人	2,814人
	(短) 20日	18人				169人	95人	71人	335人
12月	(長) 23日	147人	145人	448人	322人	520人	605人	621人	2,661人
	(短) 16日	18人				124人	77人	55人	256人
1月	(長) 23日	147人	134人	431人	287人	493人	563人	581人	2,489人
	(短) 17日	17人				107人	74人	54人	235人
2月	(長) 23日	147人	141人	462人	278人	492人	554人	524人	2,451人
	(短) 19日	17人				116人	70人	53人	239人
3月	(長) 25日	147人	161人	474人	326人	475人	563人	489人	2,488人
	(短) 14日	17人				62人	68人	42人	172人
合計	(長) 294日		1,608人	5,552人	3,933人	6,485人	7,302人	7,369人	32,249人
	(短) 207日					1,423人	890人	602人	2,915人

※各月における利用人数について、長時間保育を上段、短時間保育を下段に計上。

②こども園の主な行事

月	行 事 内 容
4 月	入園式（6日） 交通教室はじめの会（18日） 避難訓練講話（19日） こどもの日祝い会（26日）
5 月	保育参観：クラブ活動公開保育・4, 5歳児対象（15日） 保育参観：3歳児対象（22日）
6 月	親子遠足（21日） 保育参加（3歳未満児対象）（25日～28日）
7 月	プール開き（2日） 七夕まつり（5日） 短時間保育児童終業式（19日） 夏まつり会（20日）
8 月	短時間保育児童始業式（26日）
9 月	プール納会（6日） 祖父母参観・クッキング（12日）
10 月	運動会（5日） ハロウィーンパーティー（31日）
11 月	蔵王大根狩り（1日）
12 月	発表会（14日） 短時間保育児童終業式（20日）
1 月	短時間保育児童始業式（8日） お楽しみ会&感謝の会（16日） クラブ活動発表会（29日） 蔵王そりすべり体験（31日）
2 月	まめまき会（3日） 一日入園（15日）
3 月	ひなまつり会（3日） お別れ会（13日） 卒園式（20日） 短時間保育児童終業式（20日）
毎月	安全点検日・身体測定・交通安全教室・避難訓練
	内科健診・歯科検診は年に2回（春・秋に実施）

③クラブ活動実施状況

外部講師を招いて4, 5歳児を対象にクラブ活動を実施。特技や特性を活かしながら伸ばすことを目的として活動した。

実施回数 月2回程度

時 間 午前10時30分から11時30分

講 師 絵画クラブ 大槻 恵子
英語クラブ E S L代表 齋藤 由理
音楽クラブ 細渕音楽教育研究所代表 細渕 誠一
運動クラブ 仙台大学講師 山梨 雅枝

・・・年間延べ 64回実施

④各種事業年間利用者実績

子育て家庭を支援する目的として、各種事業を展開、実施した。

ア)子育て支援センター事業

子育てサロンこりす園 ・・・年間延べ3,415名利用

育児サークル ・・・年間延べ329名利用

子育て相談 ・・・年間26件受付

イ)一時預かり保育事業(有料) ・・・年間延べ330名利用

ウ)病後児保育事業(有料) ・・・年間延べ9名利用

エ)短時間児預かり保育事業(有料) ・・・年間延べ13名利用

オ)延長保育事業(有料) ・・・年間延べ728名利用

(13) 関係機関との連携

丸森町の福祉行政を中心に町内の介護保険事業所や関係機関、また、宮城県社会福祉協議会や各市町村社会福祉協議会と連携しながら福祉事業を推進した。